

なぎがまCSだより

地域と学ぶ『なぎがまCS』学校支援

なぎがまCSの存在と 地域の温かさを感じて

なぎがまCS運営委員会
副委員長兼学校支援部長



常田 芳美

最初に、地域の皆さま、いつも子どもたちを温かく見守って頂き心から感謝申し上げます。

午後3時になりますと子どもたちのさわやかな、かわいらしい声で下校の放送が流れます。その後ある地域の方は、玄関前に出て下校する子どもたちを温かなまなざしで見守られています。

どちらかとはなく、自然に「こんにちは！」「おかえりなさい」という挨拶が交わされている心温まる光景を目の当たりにしたとき、学校、保護者のみならず地域の皆さまが我が子のように愛情をもって子どもたちを見守ってくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また、私がなぎがまCS学校支援部に携わらせて頂く中で、学校支援コーディネーターの方々のお力添えには本当に感謝しております。
なぎがまCSだより特大号でも取り上げられていた荒汐部屋交流もそ

の一つです。子どもたちは相撲道を通じて、「礼に始まり礼に終わる」という生きていく上でとても大切なことを学び、大きな体の力士の皆さんとの取組を楽しみながら貴重な経験をすることができました。
なぎがまCSコーディネーターの皆さまには「縁の下の力持ち」としてこの下諏訪町の大切な宝である子どもたちに夢と希望を与えて頂けますようこれからも引き続きお力添え賜りたく宜しくお願い申し上げます。

地域と家族のきずなを育む料理クラブ

学校支援レポート

料理クラブ講師

吉澤 すえ子さん

9月の半ば、南小学校の調理室では料理クラブに所属する高学年の約30名の子どもたちが「蒸しパン」作りに励んでいました。

この料理クラブの講師を務めるのが「吉澤すえ子さん」です。吉澤さんは『下諏訪町食育応援隊』でも活躍されています。

吉澤さんが子どもたちに料理を教えるにあたり大切にしていることは「ケガなく時間内で作る」ということ。多人数の子どもたちを一人で指導するため、事前準備、段取りは大切にされています。また教えるお料

理は「地産地消の郷土食」にこだわっています。この日の蒸しパンには地域でとれた秋の味覚カボチャやサツマイモを使っていました。またパンを膨らますために重曹を使うか、ベーキングパウダーを使うかでパンの生地の色が異なることを教えてくれました。



おいしそうな蒸しパン

市販の蒸しパンミックス粉を使えば簡単にできますが、素材のことを理解しながらひと手間かけることで、おいしく作れることが大切だということを子どもたちに伝えていました。

料理クラブの子どもたちも「お母さんの手作りおやつみたいでいつもおいしい」「きゅうりの浅漬けがおいしくて、おうちでもつくってみたら、家族に喜ばれた」などの感想が聞かれました。

吉澤さんは「子どもたちもおうちで練習してきてくれて、包丁使いが徐々に上達していくのが本当にうれしい」と笑顔で語ってくださいました。

吉澤さん、また子どもたちへいろ



みんなで楽しく料理中！

いろな郷土食を教えてください。よろしく願っています。

雅楽を通して感じる

地域文化

下諏訪中学校では、総合的な学習の時間で「なぎがま講座」を行っています。

その中の雅楽講座では、平安時代から伝わる楽譜を理解し、笙・箏・龍笛・鞆鼓・楽太鼓・三味線・箏を用い「越天楽」を演奏しています。



笙の指導を受ける生徒。

学校に雅楽の楽器があり、諏訪大社や神社といった地元で長年演奏されている雅楽を、地域で活躍する雅楽を演奏する方々に教えて頂いています。

指導者の一人である青木利子さんは「子どもたちが下諏訪ならではの楽器である雅楽に触れる機会があったら、そして興味を持って楽しんでやっていくので教えがいがあります。」と語ってくださいました。

先日はGSMにて演奏を披露し、大変好評でした。他の学校や地域ではなかなか体験できないことを、地域の方で体験することができるといふことが、なぎがまCSの支援として生きていると思います。

下諏訪町 保・小・中・特・高が共に学ぶ 元気な しもすわっ子 学びの発表会

なぎがまCS広報部の立ち上げ、役割や活動などについて発表させて頂きました

昨年11月30日、下諏訪文化センターに於いて下諏訪町保・小・中・特・高・健全育成研究会 『GSM』（元気な しもすわっ子 学びの発表会）が開催されました。GSMは下諏訪町の学校、地域、家庭が連携し、心身ともに健全な子どもたちを育てていくために、どんな活動をそれぞれの団体で行ってきたかを発表する会です。南小では6年2組が「ふる



南小6年2組の発表の様子

さとCM大賞」で優秀賞を受賞したCMの製作にかかわる一連のクラス活動を楽しい寸劇やスライドにまとめて発表してくれました。子どもの頑張りや伝わる内容でとても感動しました。

また下中は雅楽クラブの皆さんが専門の指導者から学び、日々練習してきた曲を演奏してくれました。会場がとても厳かな雰囲気になりました。そして今回私たちなぎがまCS広報部としても発表の機会を与えて頂き、なぎがまCSにおける広報部の役割、そして立ち上げの際の先人のご担当者様の想いやご苦労されたことなどについて発表させて頂きました。

また、なぎがまCS設立から5年という節目ということもあり、昨年9月に発行いたしました第13号なぎがまCSだより（特大号）もA3サイズ見開き両面カラー印刷で、該当地区への全戸配布を実現することが出来ました。これも、支えてくださる関係者の皆様のおかげだと心から感謝しています。

尚、広報部で今まで発行し

てきましたなぎがまCSだより第1号から13号は下中、南小のホームページからご覧頂けます。広報部はこれからも学校、地域、家庭が連携したなぎがまCSの活動を町民の皆様に分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。今後ともどうぞご理解ご協力のもと、よろしくお願いたします。

★ボランティア大募集★

★ ハケ岳登山ボランティア

- 【活動日時】 7月14日（火）・15日（水）
- 【活動内容】 下中2年のハケ岳登山に同行し、子どもたちのサポートをして頂きます。
- 【問い合わせ先】 下諏訪中学校 27-3000

★ 読み聞かせ ボランティア

- 【活動日時】 下中・月1回程度（朝8時15分～25分まで）
南小・春の読書週間（6月末～7月初旬）
- 【活動内容】 本の読み聞かせをお願いします。読む本は何でもいいです。本に困ったら図書館で紹介してもらえます。幅広い世代の方々が登録されています。中学校、小学校どちらかでもOKです。
- 【問い合わせ先】
下諏訪中学校 27-3000
下諏訪南小学校 27-5000

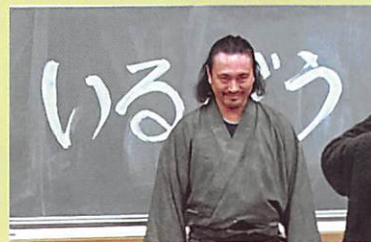


★ 少年警察ボランティア（4～5名程度）

- 【活動日時】 不定期 ※但し任期は2年（再任可）
- 【活動内容】 警察と連携し地域の子どもの見守り活動を行います。
①手作り防犯紙芝居の上演（幼保小での自主防犯対策の紹介等）
②通学路の安全パトロール（小学校での警察犬同行のパトロール）
③夜間パトロール（月1回の警察官同行のパトロール）
- 【問い合わせ】
西村厚志（なぎがまCS委員長）
090-3142-8657



NHK"シャキーン!"撮影 荒汐部屋の漫画作者「福島モンタさん」



南小図工室での撮影の様子

見たことがない「いるぞう」を目の前にして子どもたちは大興奮！撮影の合間には子どもたちに手を振ったり握手をしたりと、とても温かい、笑顔の素敵な「いるぞう」さんこと「福島モンタさん」でした。放映日は2月でしたが、4月にも放映予定です。楽しみですので「いるぞう」も荒汐部屋ホームページからアクセスすることができます。下諏訪町滞在中のエピソードも描かれていますので是非みてください。

相撲交流でお世話になっている荒汐部屋の力士の皆さんの日常を描いた漫画「荒汐日和」の作者である漫画家・イラストレーター「福島モンタさん」。合宿期間中は力士と一緒に下諏訪町に滞在されていました。実はモンタさんはNHKの子ども向け人気番組「シャキーン！」（月・金7時～7時15分）の「いるぞう」というコーナーで、侍の格好をして筆で絵を描く「いるぞう」なんです！荒汐部屋相撲交流がきっかけとなり、今回この番組の撮影が春宮と南小で行われました。南小での撮影ではテレビでしたか